

初開催の「スペプラ手越フェス」が大盛況で閉幕 手越祐也がKANA-BOON、KEYTALK、キュウソと再び共演&コラボセッション！ ブルエンの想いも繋ぎ、スペプラ手越の絆を見せた2日間！



両日OAを務めたマイキ



コラボセッション



株式会社スペースシャワーネットワーク（代表取締役社長：近藤正司、本社：東京都港区）が運営する、音楽専門チャンネル スペースシャワーTVプラスで放送中のレギュラー番組『スペプラ手越～Music Connect～』。

手越祐也が番組のMCを務め、毎月様々なジャンルのアーティストゲストをお招きし、トークや貴重なセッションを行う音楽番組として話題を集めています。この番組イベント「スペプラ手越FES.2022」を2022年5月11日(水)、5月12日(木)にパシフィコ横浜国立大ホールにて開催。MC&LIVE ACTに手越祐也が、OPENING ACTにマイキが両日出演。そしてLIVE ACTに、KANA-BOON(DAY1)、キュウソネコカミ、KEYTALK(DAY2)が出演し盛り上げました。また、DAY1に出演する予定だったBLUE ENCOUNTERに代わり、ピンチヒッターとしてKEYTALKから寺中友将(Vo./Gt.)、八木優樹(Dr./Cho.)が出演。アコースティックでライブを披露し、バトンを繋いでくれました。さらに、番組の目玉企画であるセッションも各アーティストと披露、初開催ながらスペプラ手越だからこその景色の中、大盛況で2日間の幕を閉じました。

この両日の模様はスペースシャワーTVプラスで放送！DAY1は7月16日(土)22:00～23:30、DAY2は7月23日(土)22:00～23:30にお届け。ぜひ、当日の興奮を再び、体感して下さい。

つきましては、ライブレポートとライブ写真素材をお送りいたしますので、ぜひ貴社媒体で取り上げていただけますと幸いです。ご検討のほど何卒宜しくお願いいたします。

スペプラ手越FES.2022

日時：DAY1:2022年5月11日(水) OPEN17:30-START18:30

DAY2:2022年5月12日(木) OPEN17:30-START18:30

会場：パシフィコ横浜国立大ホール

MC&LIVE ACT：手越祐也(両日出演)

OPENING ACT：マイキ(両日出演)

LIVE ACT：DAY1 寺中友将・八木優樹(KEYTALK)、KANA-BOON/DAY2 キュウソネコカミ、KEYTALK

※BLUE ENCOUNTERは出演キャンセルとなりました

料金：全席指定席7,900円

主催/企画：SPACE SHOWER NETWORKS/AVALANCHE 協賛：ファミリーマート

制作協力/運営：H.I.P.お問合わせ：H.I.P.03-3475-9999

詳細はイベント公式サイトでご確認ください

https://www.spaceshowertv.com/tegoshi_fes/2022/

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スペースシャワーネットワーク

TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 担当:関口恭馨(ksekiguchi@spaceshower.net)

ライブレポート

手越祐也がMCをつとめ、さまざまなジャンルのアーティストをゲストに迎えてトークやセッションを行うスペースシャワーTVプラスの音楽番組「スぺプラ手越 ～Music Connect～」が5月11日、12日の2日間にわたってパシフィック横浜で開催された。

オープニングアクトをつとめたマイキ、出演予定だったBLUE ENCOUNTERのピンチヒッターをつとめた寺中友将・八木優樹(KEYTALK)は両日ともに出演。そのほか、DAY1にはKANABOON、DAY2にはキュウソネコカミ、KEYTALKと、番組が紡いだ縁により豪華かつ個性の異なるバンドが集結するスペシャルな2日間となった。

「ついにこの日を迎えました！」と高揚する手越の挨拶から始まったDAY1。このステージが初ライブというマイキだったが、重厚なリズムにサイケデリックなビジュアル、挑発的な映像が流れるスクリーンを背にオーディエンスを鼓舞する彼らのパフォーマンスは、一度体験したら忘れられない独特な世界観をすでに確立していた。

次に登場したのはKANABOON。番組でセッションした「シルエット」から始まり、徐々に熱量をあげていく。初めてロックバンドのライブを体験する手越ファンも多いなか、自分たちの音楽をこれでもかと刻み付ける姿は圧巻だ。「ないものねだり」では手越も登場。自身のYouTubeチャンネルでカバーするほど好きなこの曲をKANABOONとセッションする機会は、手越にとって格別だったのだろう。いたずらっぽい表情をみせ、終始楽しそうに歌う姿が印象的だった。

続いては寺中友将・八木優樹(KEYTALK)。たしかに実力に裏打ちされているからこそできる、ユーモアあふれるパフォーマンスで会場を盛り上げる。出演できなかったBLUE ENCOUNTERの田邊駿一を彷彿させるメガネをかけ「もっと光を」をカバーした際には、会場が青い光に包まれた。「僕らのヒーローに登場してもらいましょう！」の声で手越が登場し、番組でもセッションした「照れ隠し」を再び披露。アコースティックのあたたかい音と、寺中&手越の重なり合う声が優しく響き、歌い終えたふたりは「最高！」と笑みを交わし合った。

各バンドがそれぞれの色を見せつけたのち、手越祐也が登場。「モガケ！」の冒頭をオフマイク&アカペラで熱唱し、各バンドのファンにヴォーカリスト・手越祐也の存在を刻み付ける。クラブで一緒に盛り上げられる「Hello!!」や「七色エール」を序盤に選曲したのは「てごにゃん初心者でも参加できる曲を選んだ」とのこと。「次こそは一緒にステージに立とうな！」のメッセージを背に田邊メガネをかけた手越は、青一色に染まる客席を見渡しながらか、BLUE ENCOUNTERの「ユメミグサ」を全力で歌いあげた。後半では4月30日に配信リリースされたニューシングル「MAZE WORLD」を披露。リリースから日も浅いこの曲のパフォーマンスを、まさか今回のフェスで見られると思っていたファンは驚きの表情だ。重低音が響くなか、キレのあるダンスと伸びやかな歌で魅せる「MAZE WORLD」は瞬きをする間も惜しいほど客席をくぎ付けにした。以降は怒涛のダンス曲が続き、アーティスト・手越祐也の姿を余すところなく見せつけた。

DAY2ではキュウソネコカミが登場。「一番うるさい音楽をやっていくぞ！」の掛け声から「MEGA SHAKE IT!」、「ビビった」を披露。一気にトッギアまであがったところで、手越も一緒に「ファントムヴァイブレーション」を歌う。セイヤとスイッチしながら速いテンポの歌詞を笑顔で歌いこなし、楽しげに飛び跳ねる手越の姿からは「ライブが一番楽しい」と語っていた彼の思いが強く伝わってくる。キュウソネコカミのラスト曲は「ハッピーボンコツ」。実は今回のフェスに向け、SNSではファン同士がオススメ曲を教えあうという現象が起きていた。そんななか、キュウソネコカミのファンが「この曲をやるだろう」と最も多く挙げていたのが「ハッピーボンコツ」だったそう。ファンが誇る楽曲をラストに披露する粋な演出は、今回のフェス全体を通して伝わってくる「音楽という共通項があれば、ジャンルを超えて繋がることができる」という思いが具現化された一幕だったのではないだろうか。

続いてKEYTALKが登場。DAY1でのユーモラスなアクトも印象的だったが、小野武正、首藤義勝が揃ったフルメンバーの構成はやはり圧巻だ。巨匠と義勝のツインボーカルが心地よく響く「アオイウタ」から始まり、瞬間間に会場をKEYTALK色に染め上げる。代表曲ともいえる「MONSTER DANCE」では手越がダンサーたちを引き連れて登場し、クルクルと転調する難曲を楽しげに、コミカルなダンスとともに歌いきった。実はこの日が誕生日だった巨匠。サプライズケーキをステージ上に運んできた手越はバースデーソングを贈り、会場はしばしあたたかい空気に包まれた。

DAY1に続き全力でステージに臨み、2日間を駆け抜けた手越は「みんな音楽が大好きで、ファンのことが大好きな人たちです。スぺプラ手越に出演いただいたときも夢がかなったと思ったのに、数か月後にはこうしてフェスができていて心から感謝したいです。またこのメンバーでライブを作りたいと思いますので、ぜひ楽しみにしてください！」と笑顔で締めくくった。

なお、「スぺプラ手越 FES.2022」2日間の模様はスペースシャワーTVプラスにて、ダイジェスト放送を6月18日、DAY1を7月16日、DAY2を7月23日とそれぞれ放送される。

(取材:とみたまい/写真:関口佳代)

▼放送日程「スぺプラ手越FES.2022」

〈ダイジェスト放送〉6月18日(土) 22:00～22:30

〈DAY1〉7月16日(土) 22:00～23:30

出演：手越祐也、マイキ、KANABOON、寺中友将・八木優樹(KEYTALK)※BLUE ENCOUNTERは出演キャンセルとなりました

〈DAY2〉7月23日(土) 22:00～23:30

出演：手越祐也、マイキ、キュウソネコカミ、KEYTALK

【HP】<http://sstv.jp/spepla>

【ハッシュタグ】#スペシャプラス #スぺプラ手越 #スぺプラ手越フェス

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社スペースシャワーネットワーク

TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 担当:関口恭馨(ksekiguchi@spaceshower.net)